



住所 じゅうしょ 南蛇井 なんじゃい 1133-1 名称 めいしょう 大徳山最興寺 だいとくさんさいこうじ 宗派 しゅうは 曹洞宗 そうとうしゅう

おお 大きな にそう 二層の さんもん 山門が ゆうめい 有名である。 けん 3間 けん 2間の いりもやづくり 入母屋造で、 りっぱ 立派な

ちょうこく 彫刻が きざ 刻まれている。 しし 獅子や ばく 獺の とうぶ 頭部のほか、 みず 水に うさぎ 兎、 まつ 松に

たか 鷹、 りゅう 龍が みごと 見事な す 透かし ほ 彫りで おすみりゅう 表されている。これは、 おすみりゅう 大隅流と

え 江戸時代 どじだい ころに す 諏訪 わちほう 地方で かくりつ 確立され、 じしゃけんちくりゅうは 寺社建築流派の とうりょう 棟梁が

せつけい 設計し、 ぶんきゅう 文久 ねん 3年 ねん (1863年) じょうとう に上棟したとされている。